

第21期（2019年3月期） 第2四半期決算のご説明

2018/11/8



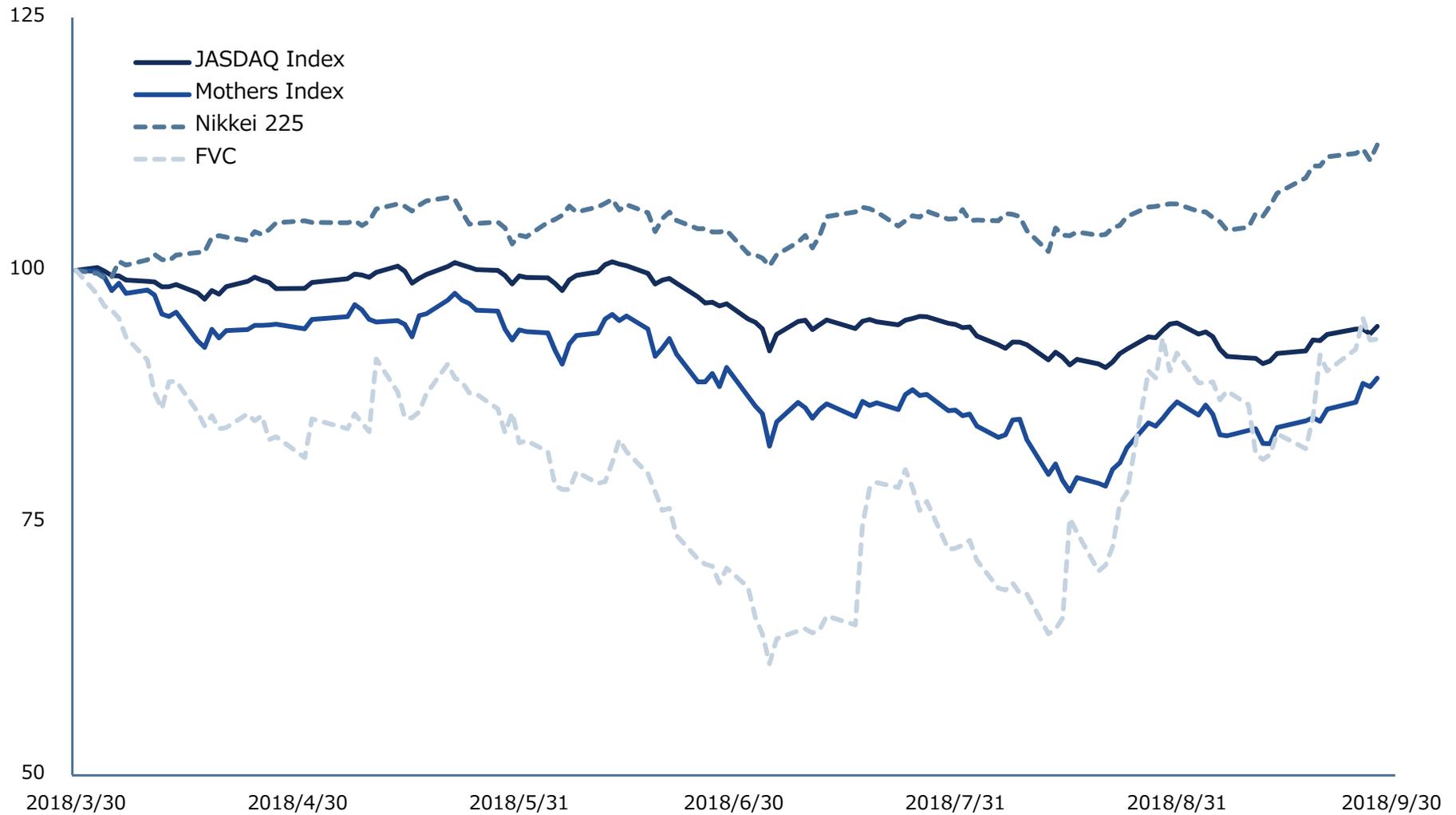
1. 市場環境	・ ・ ・ ・ P.03
2. 決算説明	・ ・ ・ ・ P.08
3. 主な取り組み	・ ・ ・ ・ P.18

市場環境



1.1. 株式市場の状況

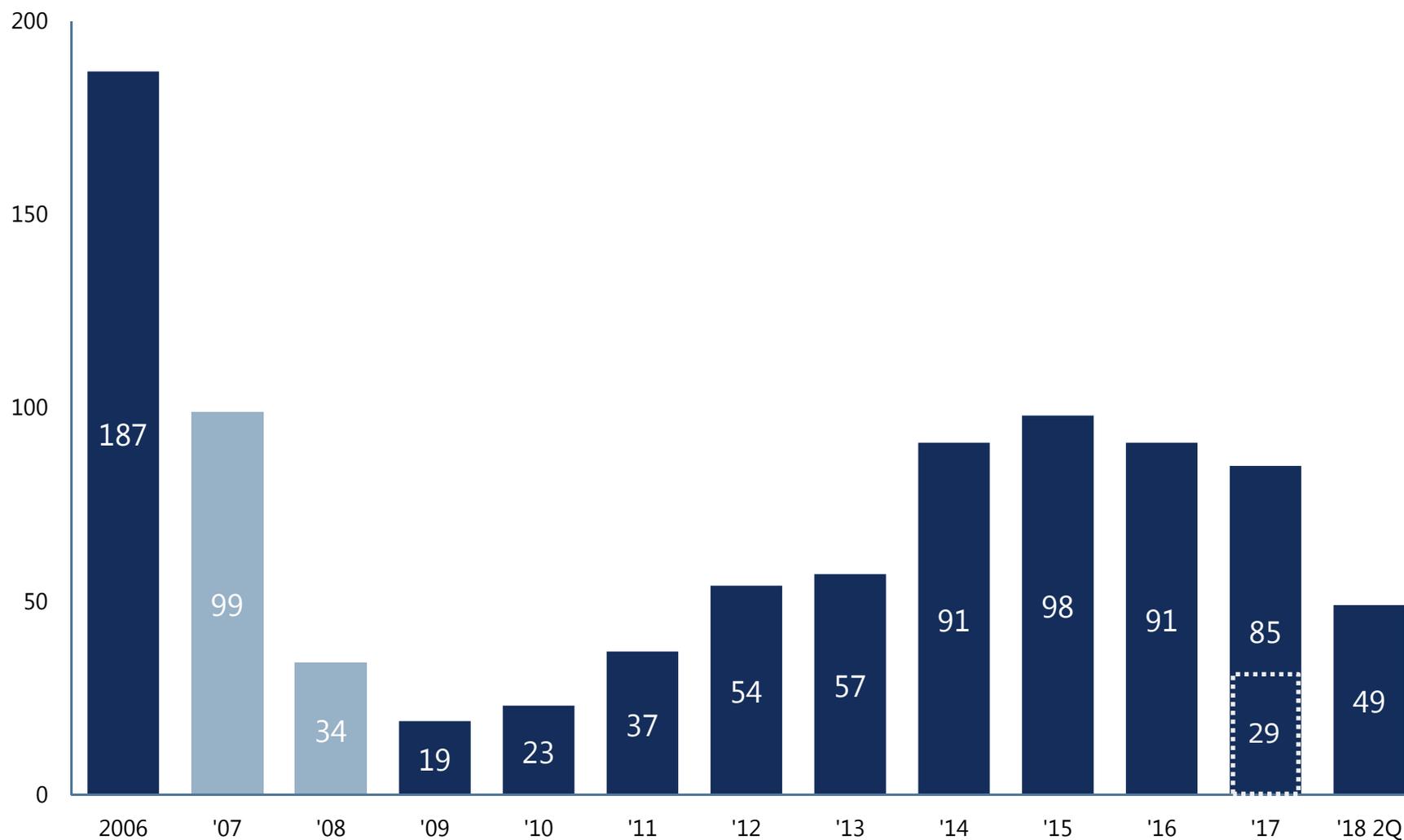
日経平均は堅調に推移する一方、新興市場は軟調。



※2018年3月末を100とした指数 4

1.2. 新規上場市場の状況【新規上場社数】

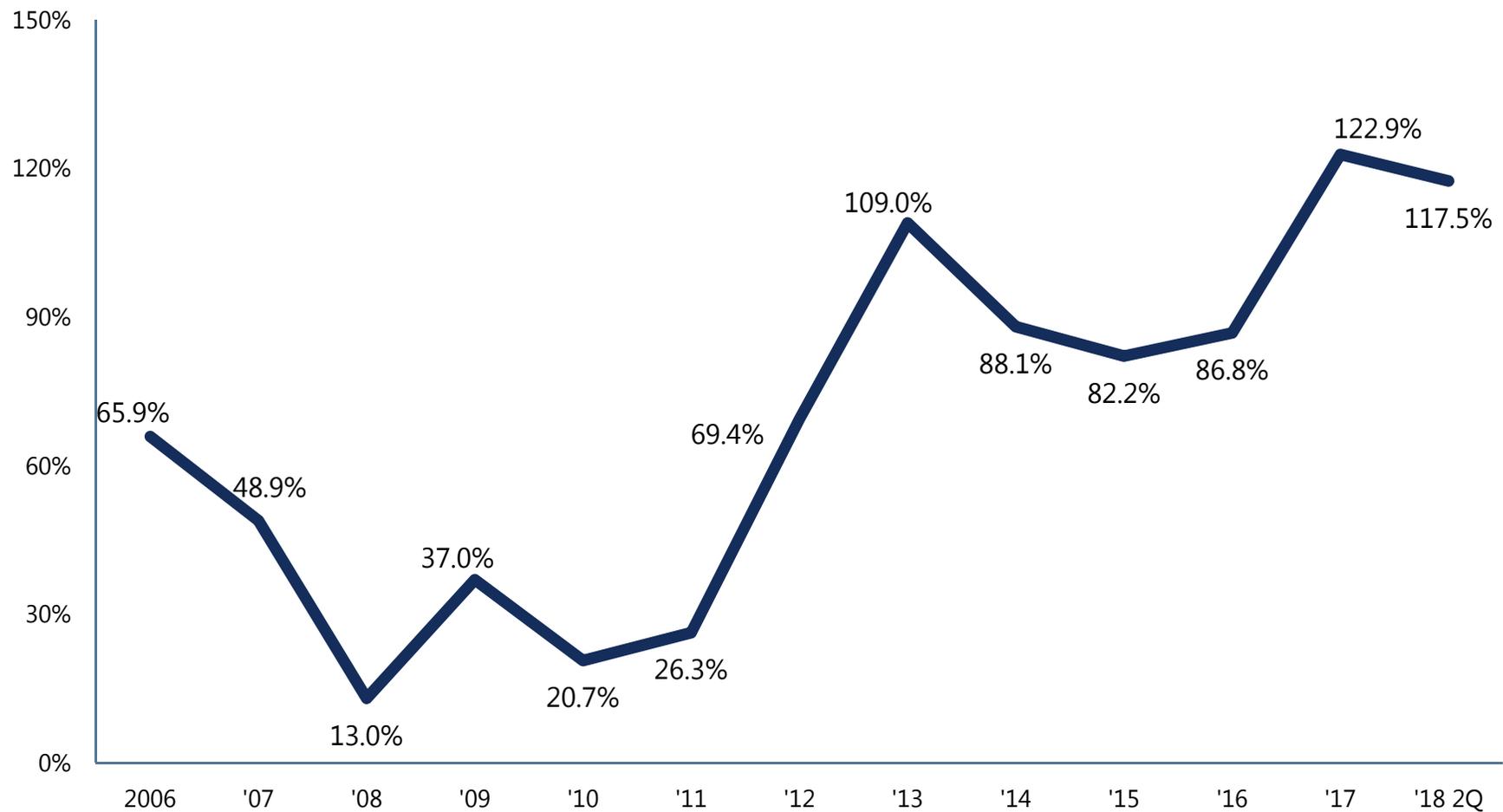
■ 49社が上場し、前年同期の29社から20社増。



1.3. 新規上場市場の状況【平均初値騰落率】

上場した49社のうち、初値騰落率100%超えが23社で、
高水準で推移している。

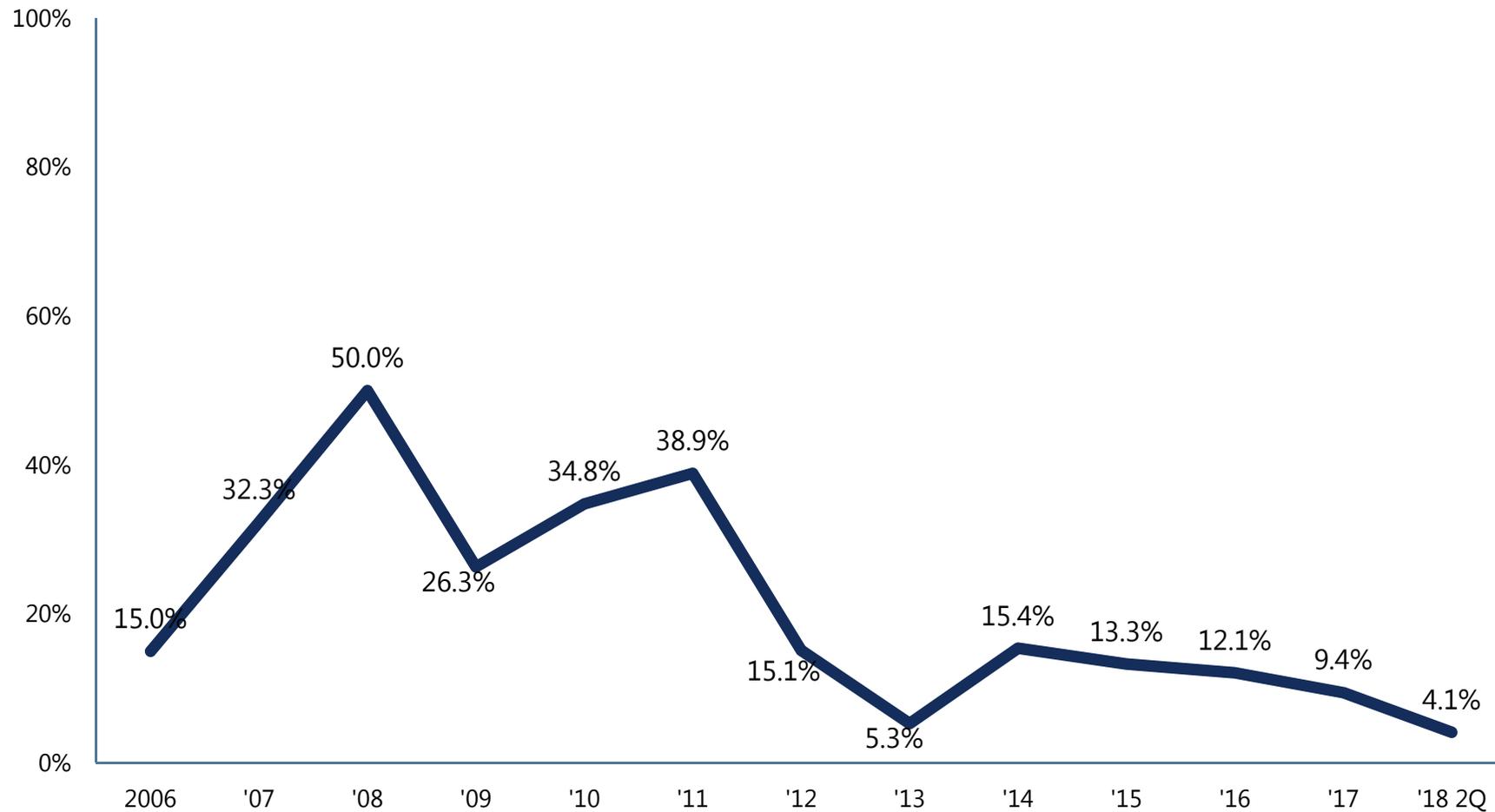
※初値騰落率：{ (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)



1.4. 新規上場市場の状況【公募割れ比率】

2012年以降、初値が公募価格を下回るケースは限定的。

※公募割れ比率：新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率



決算説明



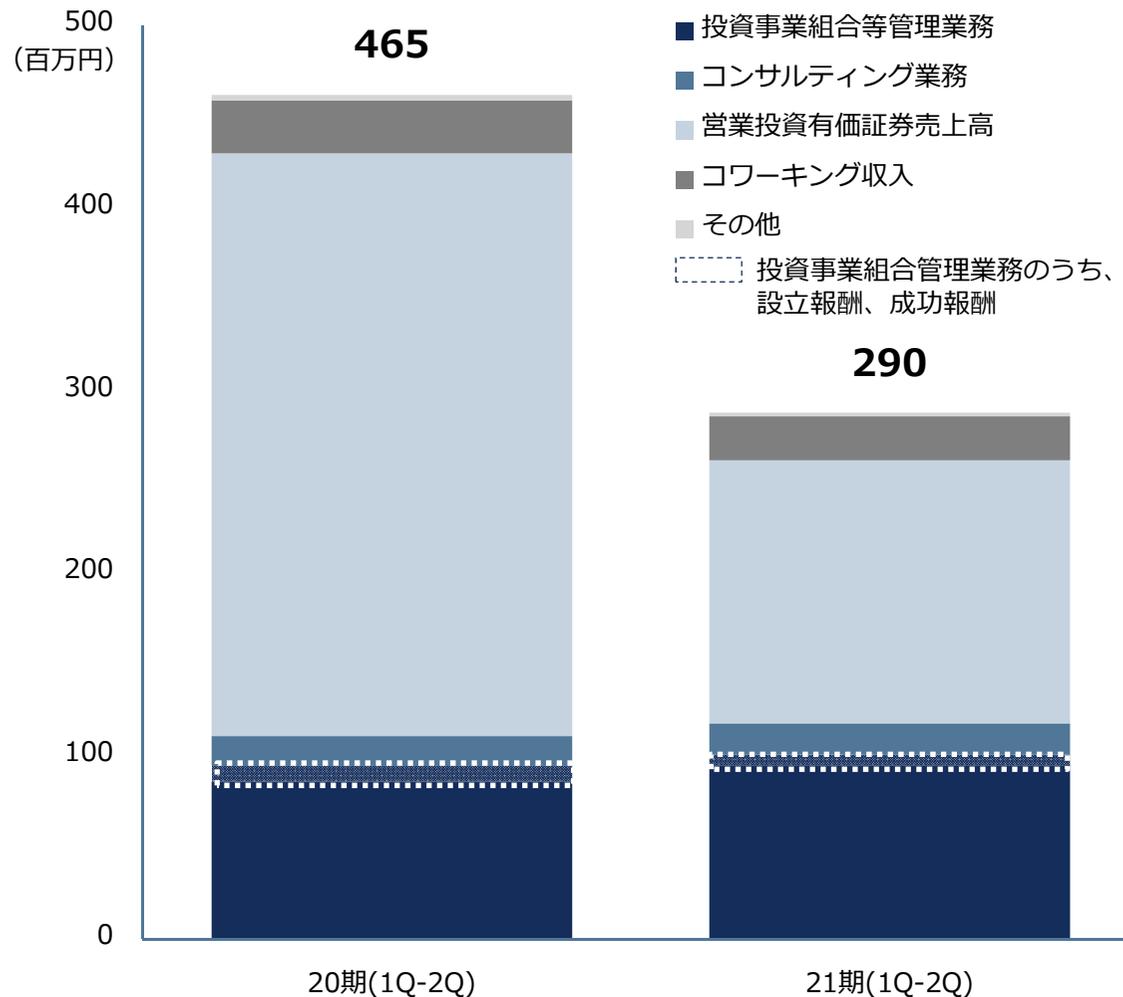
2.1.決算概要 (PL)

単位：百万円	第20期2Q (2017/4~2017/9)	第21期2Q (2018/4~2018/9)	対前期比
売上高	465	290	△175
営業損益	33	△61	△94
経常損益	34	△37	△71
当期純損益	188	△40	△228
親会社株主に帰属する 当期純損益	56	△78	△134

2.2.決算概要 (BS)

単位：百万円	第20期4Q (2018/3末)	第21期2Q (2018/9末)	対前期比
流動資産	2,440	2,217	△223
うち 現金及び預金	2,201	2,044	△157
うち 営業投資有価証券	216	147	△69
うち 投資損失引当金	△0	△0	0
固定資産	783	802	19
資産合計	3,224	3,020	△204
流動負債	152	105	△47
固定負債	30	30	△0
負債合計	183	136	△47
自己資本	2,873	2,801	△72
純資産	3,041	2,884	△157
総資産	3,224	3,020	△204
自己資本比率	89.1%	92.7%	3.6

未上場企業の営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ減少したこと等により、売上高は減収

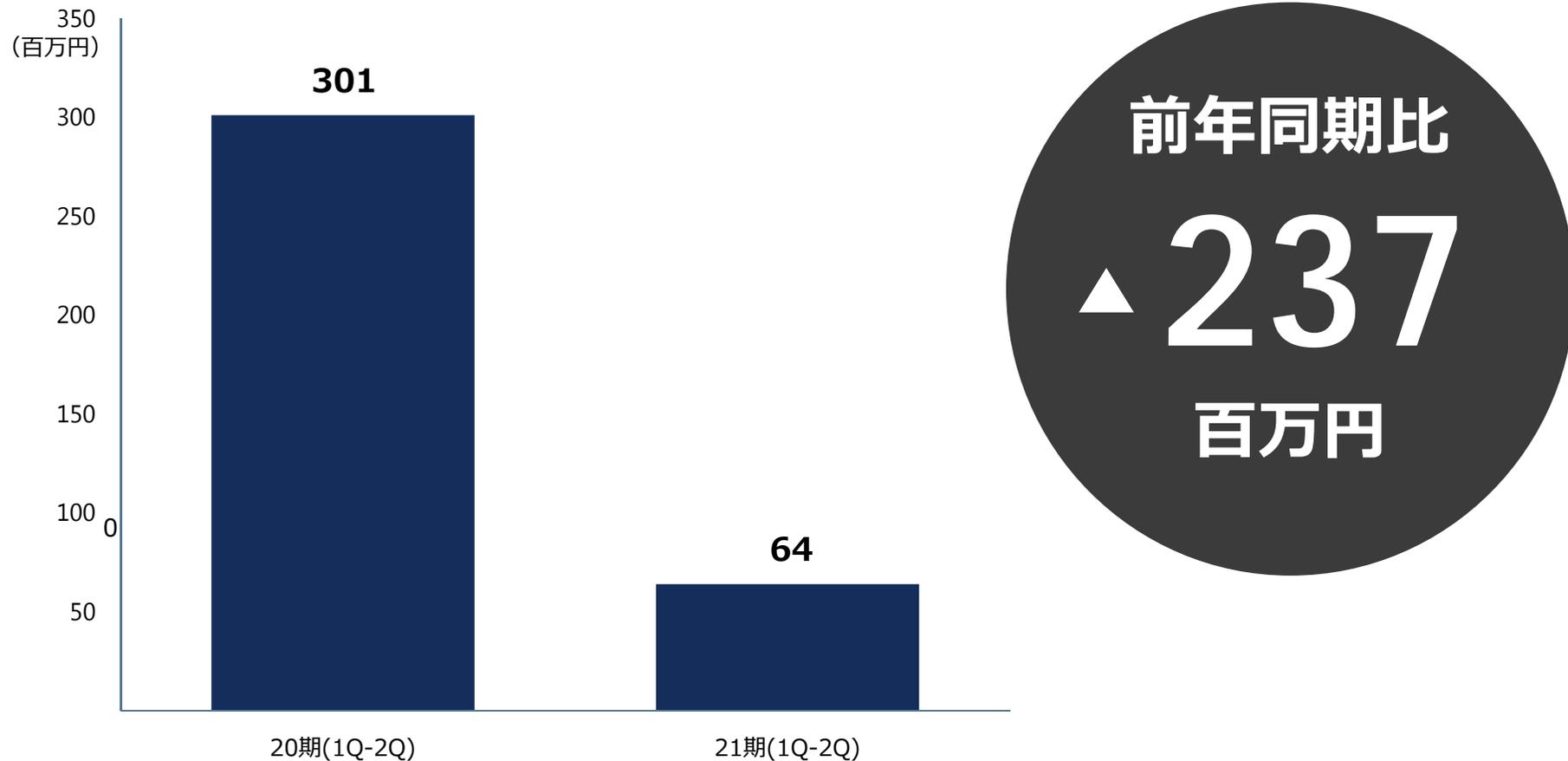


前年同期比
▲ 175
百万円

2.4.営業投資有価証券にかかる損益

未上場企業の営業有価証券を売却したことと、引当金繰入が軽微であったことから、投資損益は黒字であるが、前年同期に売却したZMPほどのインパクトがなく減益

※ 営業投資有価証券にかかる損益 = 営業投資有価証券売却高 - 売却原価 + 売却にかかる投資損失引当金戻入額 - 減損等 + 減損等にかかる投資損失引当金戻入額 - 投資損失引当金繰入額



2.5. 株式会社ZMP

**FVCグロース二号ファンド（当社出資比率52.6%）より48百万円投資し、第20期（2018年3月期）に株式を一部売却。
当第2Q累計期間には売却しておらず、180万株保有中。**

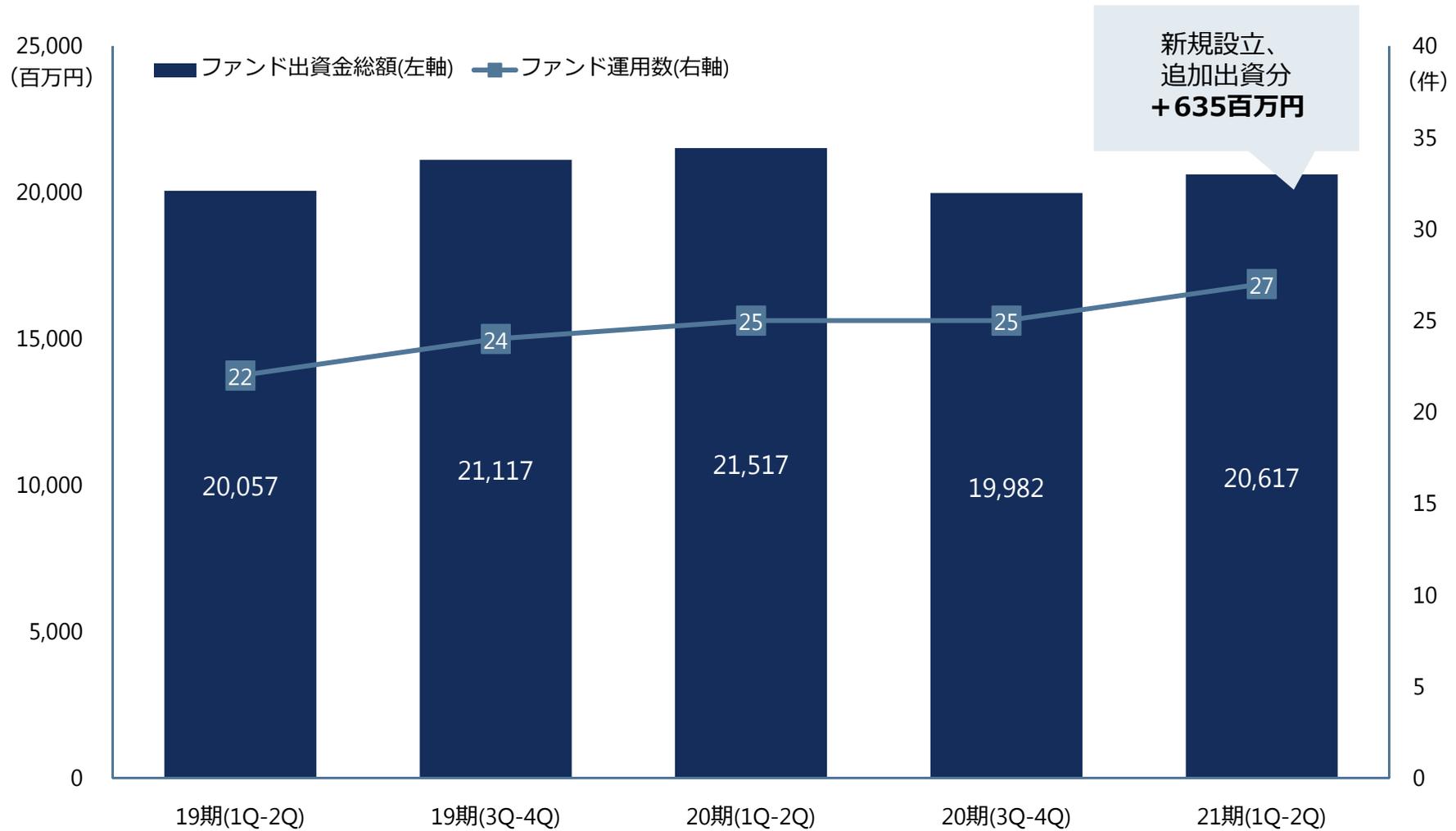


Robot of Everything

所在地	東京都文京区
事業内容	自律移動ロボットテクノロジー事業
資本金	1,302百万円
投資時点株価	20円
残株数	1,800,000株

2.6.ファンド運用状況

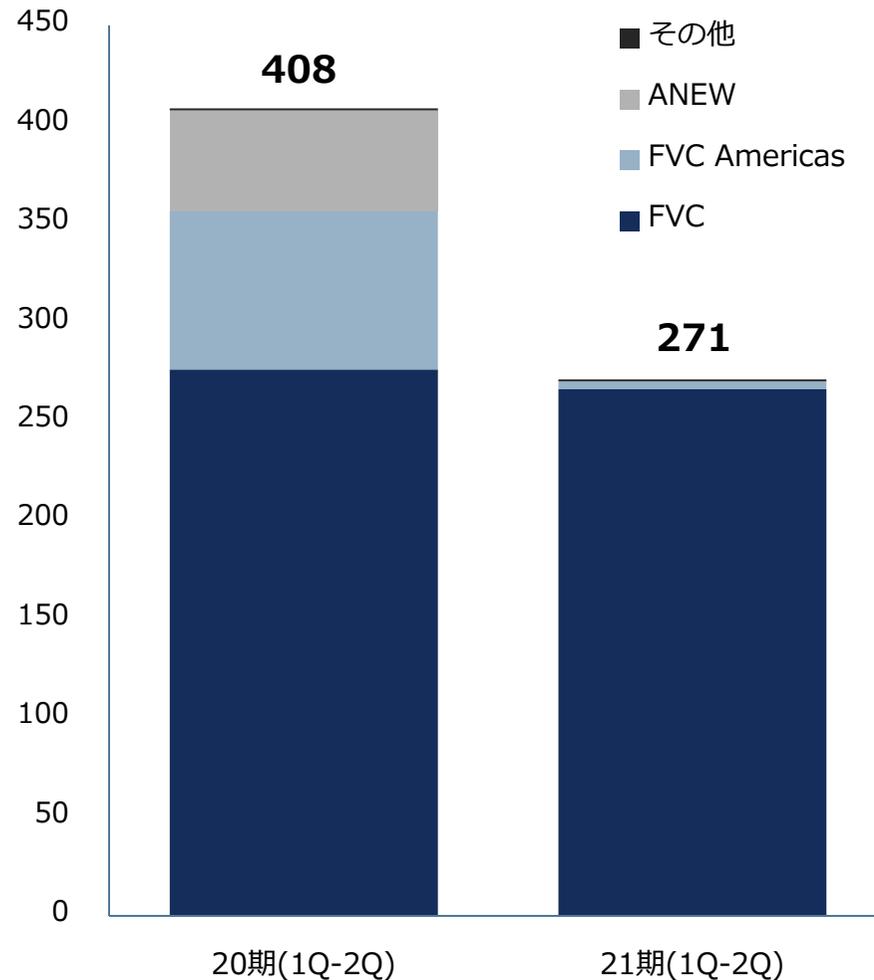
■ ファンドを新たに2本設立し、ファンド運用総数が27本に



2.7. 固定的費用

ANEWの売却、米国事業の縮小により、経費は減少

※ 固定的費用 = 販売費および一般管理費 + 売上原価（営業部門における活動経費）



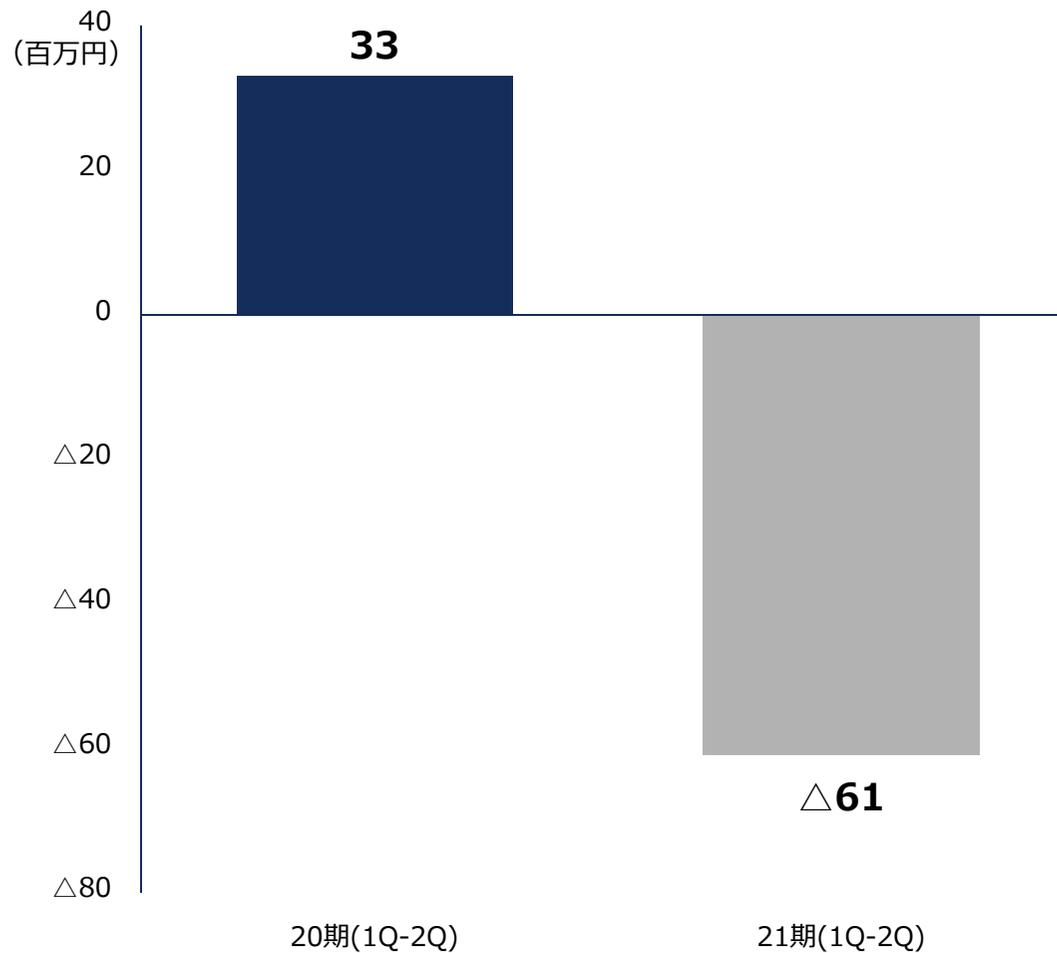
単位：百万円

	20期 2Q	21期 2Q
固定的費用	408	271
FVC	276	266
FVC Americas (※)	80	4
ANEW (※)	51	—
その他	1	1

(※) ANEWは売却済み、FVC Americasはコワーキング施設の撤退により経費減少

2.8.営業損益推移

未上場企業の営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ減少したこと等により、営業損益は赤字



前年同期比
▲94
百万円

持分法適用関連会社であるデジアラホールディングスの業績が好調に推移し、のれんの償却を上回り、持分法による投資利益を計上

※業績数値の詳細は非開示



持分法による
投資利益

22
百万円

所在地	神戸市東灘区向洋町6丁目9
事業内容	インターネットを利用した大型住宅設備機器等の販売 など
資本金	99百万円
取得株式数	5,080株 (持株比率24.8%)
株式取得実行日	2017年9月28日,11月30日
連結売上高	9,157百万円 (2018年3月期)

主な取り組み

2018/4~2018/9





地方創生ファンド

出口戦略を必ずしもIPOやM&Aに限定せず、地域における創業率の向上、域内経済の活性化を実現するためのファンド



CVCファンド

コーポレートベンチャーリングの取り組みの促進ツールとして、特定の事業会社と事業シナジーの高いベンチャー企業への投資を行うファンド



ベンチャーファンド

優れた技術やサービスを持ち、成長性が高く見込まれるベンチャー企業への投資を行うファンド

3.1. 地方創生ファンドの成果

地域のベンチャー企業を支援する「地方創生ファンド」を新たに2ファンド設立

(単位：百万円)

エリア	ファンド名	設立	総額
滋賀	びわこ・みらい活性化ファンド	2018/6	100
京都	イノベーションCファンド	2018/8	500
兵庫	こうべしんきん ステップアップファンド (追加出資)	2018/8	35

新規ファンド設立数

2本

新規ファンド設立総額

635百万円

※追加出資分も含む

アザース株式会社



上場日	2018年9月19日
上場市場	TOKYO PRO Market
本社所在地	愛媛県松山市
事業概要	ラーメンを主力商品とする飲食店業
投資時点株価	174円※分割考慮後
上場初値	340円
上場初値投資倍率	1.9倍

えひめベンチャーファンド2004（上場実績6社）の
後継ファンドであるえひめベンチャーファンド2013からの新規上場

フェニックスファンドの有限責任組合員であるフジミ社が当ファンドの投資先であるディーピーエス社と協業

研磨剤メーカーの「株式会社フジミインコーポレーテッド」と、逆相用フラッシュカラムカートリッジを開発しているベンチャー企業「株式会社ディーピーエス」が高純度シリカモノリスパウダーを充填剤として用いた逆相用フラッシュカラムカートリッジなどの製造・販売に関して協業。

ディーピーエスへはフジミインコーポレーテッドと組成した「フェニックスファンド」から投資を行っている。

研磨剤メーカー



FUJIMI
FUJIMI INCORPORATED

粉体分析技術、粉砕・分級技術、
表面修飾技術



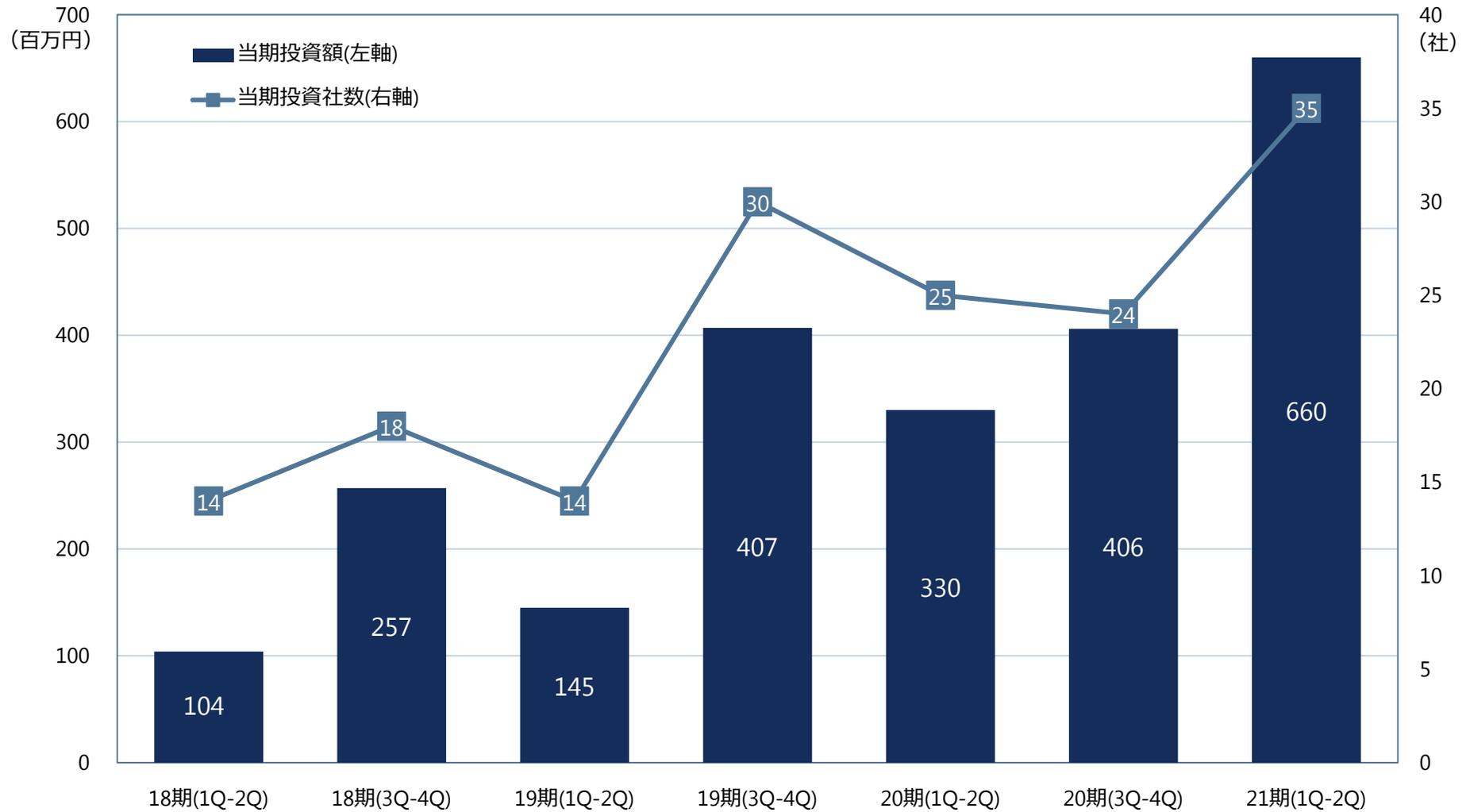
高純度シリカモノリスパウダーの開発



dps
DualPore™ Solution

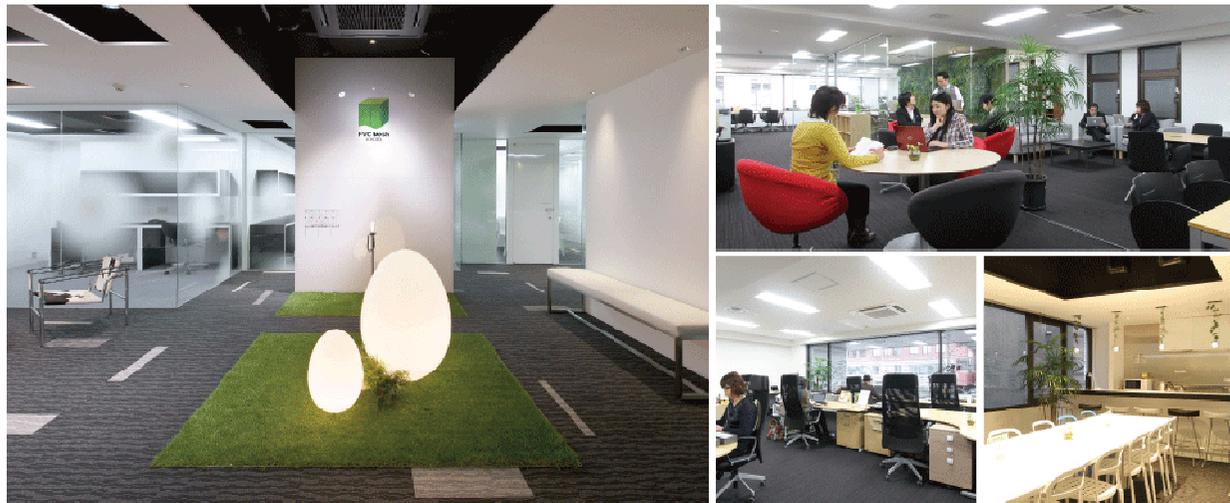
高純度シリカモノリスパウダーの
製品開発、製造プロセス

■ 新設ファンドの増加により、投資社数／額は堅調に推移



コワーキングスペース「FVC Mesh KYOTO」の機能強化の一環として、創業支援プログラム「FVC Founders Program」を開始

起業前・起業後概ね3年以内の成長志向の高い起業家を対象に、事業の成長を加速させることを目的として、FVCのインキュベーションマネージャー、投資担当者やマネジメントメンバー等が、セミナーと個別メンタリングを6ヶ月間実施。



 **ベンチャー企業支援メニューの一端を担う**

2018年9月11日をもって、創立20年を迎えました。

フューチャーベンチャーキャピタルは、2018年9月11日をもって創立20年を迎えました。フューチャーベンチャーキャピタルは「ベンチャー企業の経営者の夢の実現を応援する」を創業理念に掲げ、出資者の皆様とともに日本各地でベンチャー企業の支援を続けてまいりました。これからも当社のミッションである「100年継続企業を創る」を実現するために、リスクマネーを多方面に供給する仕組みづくりや、オープンイノベーションを促進する取り組みを進めてまいります。



当社の取り組みを振り返る周年特設サイトをオープン。



Future Venture Capital

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。